

創立 70 周年を迎えて

このたび当社は、創立 70 周年を迎えました。これもひとえに、株主様、お客様、協力会社の方々をはじめ多くの皆様からのご支援とご愛顧の賜物と厚く御礼を申し上げます。また、諸先輩方のこれまでのご苦勞に対して感謝の念を表明したいと思います。

当社は、昭和 19 年に鉄道建設興業(株)として設立され、昭和 39 年からは、鉄建建設(株)として鉄道をはじめとする交通インフラを中核として、全国規模でさまざまなプロジェクトに取り組み、社会に貢献してまいりました。

昭和期における高度経済成長とオイルショック、さらには昭和期から平成初期にかけてのバブル景気による経済拡大とバブル崩壊、と様々な時代背景の中において、当社は着実に発展を遂げてまいりました。続く平成期においては、平成6年の急激な円高の加速にはじまり、相次ぐ金融破綻、リーマンショックによる世界同時不況や、頻繁な政権交代による政治不安なども影響し、我が国の経済が低迷した時代でありました。また、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災など相次ぐ自然災害を受けた時代でもあります。建設業界においても、建設市場の縮小、契約制度の激変など、経営環境の大きな変化がありました。この間、皆様方からのご指導とご支援のもと、懸命な努力を重ね、困難を乗り越えてまいりました。

そして、昨年日本経済は、アベノミクスの二本の矢である「大胆な金融政策」と「機動的な財政政策」が功を奏し、国内外のマインドが緩み、東京オリンピックの開催決定と合せて、久方ぶりに明るさが見えてきました。三本目の矢「民間投資を喚起する成長戦略」が成功し、実態経済が上昇に転じるかどうか注目が集まっています。また、国土の強靱化及び国民の安全・安心のための社会資本整備が必要であるとの声が広がり、我々建設業が果たす役割が見直されつつあります。建設業にとってもフォローの風が吹き始めましたが、一方では、価格競争の激化や労務・資機材価格の高騰に、一段と拍車がかかるとの懸念もあります。このような状況下において、当社は70周年を迎えたわけです。

社員全員の力を結集して、安全・品質の向上、技術力の向上、仕事の仕組みの改善、目指すべきターゲットの拡大等、様々な変革をさらに進めることにより、フォローの風をたくさん帆に受けとめて、しっかりと業績を上げ、安定的な経営基盤を確立することができる会社にしていく覚悟です。当社の唯一にして最大の財産である社員とこの意識を共有していくことが大切であると考えています。

創立 70 周年を迎えるにあたり、会社設立時から脈々と受け継がれてきた鉄道・交通をはじめとした「特色ある技術」を大切な芽として日々ブラッシュアップしながら育てていくとともに、新分野にも積極的に挑戦し、将来の有望な芽を見つけ育てあげ、「信用と技術」を基本として、チャレンジ精神をもって社会的使命であります「安全と安心と満足の提供」を実現してまいります。

めざす企業の姿は、

「お客さまに喜んでいただける企業」

「社会に貢献できる企業」

「家族に誇れる働きがいのある企業」です。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

橋口 誠之